

令和5年度

社会福祉法人 朝霞市社会福祉協議会

事業報告

令和5年度 社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会 事業報告

目次

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく 組織体制の基盤強化	1
2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画 に基づく重点事業	2

II 事業報告

1. 法人運営事業	4
2. 地域福祉事業の推進	7
3. 相談援助事業の実施	9
4. 福祉資金貸付業務の実施	10
5. ボランティア事業の推進	11
6. 市委託事業の受託経営	14
7. 指定管理事業の受託経営	16
8. その他社協関連事業	26

I 重点項目の取組み

1. 社協発展・強化計画に基づく組織体制の基盤強化

(1) 組織体制の強化

◇専門家による財務会計に関する事務処理体制の強化

税理士による「税務業務」及び社会福祉法人会計に精通する委託業者による記帳代行業務並びに会計処理の効率化に伴う業務を実施し、内部統制の強化を図りました。

◇運営体制の強化

事業評価制度に基づき、事業目的の妥当性、事業の有効性や効率性など検討し、事業の拡張又は改廃や縮小を行いました。また、危機管理体制の整備として、本会全体の事業継続（BCP）計画を策定しました。

◇PR力の強化

各部署のXの情報発信回数目標値達成に向けて、意識的に情報発信に取り組みました。

(2) 人材育成の取組み

◇人材育成指針の策定

法人として求める職員像と目指すべき職員像を明確にするとともに、その実現のための手法や考え方をまとめた人材育成指針を策定しました。

◇キャリアデザインの体系化

社協職員としての職員個々の成長を促すため、これまでの自分を振り返り、今後の自分の将来を見据えた「今年度の私の成長目標」を全職員が作成し、必要に応じて、職員面談を実施しました。

◇職員研修制度の充実

各種キャリアパス研修や専門研修などを受講し、人材の育成に努めました。また、人材育成指針に研修体系図を記載することで、階層別に受講すべき研修を明確にするとともに、職員個人が自分自身のキャリアアップに向けたイメージをわかりやすく捉えることができるような体制を整備しました。

(3) 財政基盤の強化

◇経費の有効活用

経費削減チェックリストに基づき、サービスの質を高めつつ、限られた財源の中で有効活用を意識しながら、組織的に経費削減に取り組みました。

◇財源の確保

職員の理解促進及び新たな手法を検討しました。また、募金箱の設置啓発やチラシの配布を通して企業等への働きかけを行いました。

2. 第4期朝霞市地域福祉活動計画に基づく重点事業

【基本目標1】

市民の暮らしを支える仕組みづくり

◇地域共生社会の実現に向けた仕組みづくり

高齢者・障害者・子育て支援等、様々な関係機関と課題や現状について情報交換、意見交換を行い、連携を図りました。また、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）に関する他市の実状や課題を調査し、CSW配置に向けての準備を進めました。

◇相談支援体制の充実

福祉に関する様々な相談（児童、高齢者、障害者、就労、生活困窮、権利擁護等）に対応するとともに、各専門機関と連携し支援を行いました。

また、ボランティア保険の出張受付を実施した他、イベント等で相談窓口を開設することで、ボランティアに関する相談支援、情報周知を行いました。

◇保健医療・社会福祉サービスの充実

介護、障害者支援等の専門機関同士がそれぞれの活動や機能を十分に理解し、支援体制を構築していけるよう研修会を開催しました。昨年度のアンケート結果を踏まえ、より関心の高い内容を盛り込むことで様々な関係機関が参加し、連携及び資質向上を図りました。

◇権利擁護の推進

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の新規契約に向けた支援や、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かりサービスの援助を行いました。

また、成年後見制度について広く市民に周知するために、行政書士による成年後見・遺言・相続等の無料相談会を実施しました。

その他、施設でのポスター掲示や社協主催の講座などで権利擁護に関する取組みの周知啓発を行いました。

◇生活困窮者等への支援の充実

相談者の生活状況を把握し、生活福祉資金貸付だけではなく、他機関による資源（生活保護、住居確保給付金、ハローワーク等）の情報提供を通して生活再建できるよう支援しました。また、食材の確保が困難な相談者に対し食料支援を行ったほか、市民や企業から食料品等の寄付、寄贈を受け付け、生活困窮者への支援を行いました。

◇地域住民の交流の促進

各施設で事業を実施し、参加者が交流を深められる機会の提供に努めました。また、ふれあい・いきいきサロン、高齢者会食会などの活動団体の運営を支援するため、助成金の交付やサロン交流会を行いました。

【基本目標2】

思いやりと支え合いの心づくり

◇地域福祉に関する理解と参加の促進

地域福祉の担い手の育成、福祉活動への参加支援として各施設で実習生やボランティアの受け入れを行いました。また、ボランティア講座の開催や出前講座を実施し地域で活躍している団体の活動支援を行いました。

その他、住民参加型在宅福祉サービス「あいはあと事業」の新規協力会員向け講座を開催し、地域の支え合い活動の促進を図りました。

◇支え合い・助け合いの気持ちの醸成

近隣4市（朝霞市、和光市、志木市、新座市）のボランティアセンターが共催で「朝霞地区四市福祉教育研修会」を開催しました。その他、小・中学校などで行う福祉教育では福祉教育サポーター（ボランティア）の協力を得て実施することで、支え合い・助け合いの気持ちの醸成を図りました。

◇地域での見守りの充実

あいはあと事業新規協力会員向け講習会、協力会員フォローアップ研修会、あんしんサポートねっと事業生活支援員交流会において、互助の助け合いの重要性について説明し、地域住民が主体となって見守り活動を行うことの必要性について理解を深めました。

◇情報共有・発信の充実

広報紙「社協あさか」、ホームページ、X、Facebook、You Tubeなどの情報媒体を活用し、情報提供を行いました。また、地域活動団体を訪問する際に広報紙やチラシを持参し配布するなどの情報発信を行いました。

◇地域福祉を支える団体の活性化・人材の育成

地域の福祉活動団体に対し相談支援や助成金の交付を行い、活動をサポートしました。また、手話講習会やボランティア講座などを実施し、地域福祉を支える人材の育成に取り組みました。その他、市民活動支援ステーションと連携し、地域デビュー支援セミナーでボランティアセンターのブースを設けるなど、相談支援に努めました。

【基本目標3】

安心して暮らしやすい地域づくり

◇施設等の整備・充実

地域の住民が気軽に集うことができる場について関係機関との情報交換、地域活動団体の活動場所についての情報提供等を行いました。また、本会が管理運営する全ての施設において、利用者が安心・安全に利用できるように日頃から点検や修繕を行いました。

◇防災対策の充実

朝霞市と災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定を締結し、有事の際の体制整備を図りました。また、本会が管理運営する全ての施設において、様々な災害を想定した防災訓練を行い、防災意識の啓発に努めました。

◇防犯対策の充実

本会が管理運営する施設において、防犯に関するポスター掲示やチラシの配布、不審者情報などを周知し、利用者に対し注意喚起を行いました。また、放課後児童クラブでは防犯教室を実施し、防犯に対する意識の啓発を図りました。

◇外出・移動の支援

外出や移動に困難を抱えている人に対し車いすの貸出しを行いました。また、広報紙やSNSで周知し、利用の促進を図りました。

◇住まいの確保等への支援

住まいの確保に困難を抱えている人の相談に応じ、各種制度に関する情報を提供した他、生活面で困窮している相談者には生活福祉資金貸付の案内を行いました。

II 事業報告

1. 法人運営事業

役員の改選をはじめ、理事会、評議員会等を開催し、事業計画並びに資金収支予算を定めるとともに各種委員会の開催など、本会の基幹的業務を計画的に実施しました。

広報活動として、ホームページやX等を活用した社協事業のPRや積極的な情報発信を行い、福祉情報をわかりやすく、迅速に提供しました。

また、職員の能力開発のための研修を実施するとともに、働き方改革関連法に基づき職員が安心・安全に業務に従事できるよう、魅力ある職場づくりに努めました。

◇理事会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和5年第2回	令和 5年 6月 6日	9人 (監事2人含む)	令和4年度事業報告等 10議案
令和5年第3回	令和 5年 6月23日	8人	会長の選定等 4議案
令和5年第4回	令和 5年 8月21日	9人	補正予算等 3議案(書面決議)
令和6年第1回	令和 6年 2月 7日	8人 (監事1人含む)	補正予算等 3議案
令和6年第2回	令和 6年 3月15日	9人 (監事1人含む)	令和6年度事業計画等 12議案

◇評議員会の開催

区 分	開催年月日	出席数	提出議案
令和5年第2回	令和 5年 6月22日	12人	令和4年度事業報告等 2議案
令和5年第3回	令和 5年 9月26日	22人	補正予算 1議案（書面決議）
令和6年第1回	令和 6年 3月 1日	22人	補正予算 1議案（書面決議）
令和6年第1回	令和 6年 3月27日	12人	令和6年度事業計画等 4議案

○正副会長会議

- 理事会・評議員会提出議案等について協議を行いました。
- ・開催回数：3回

◇各種委員会等の開催

○総務・財政委員会

- ・第1回：令和4年 5月24日（出席者4人）
広報紙「社協あさか」7月号（No.191）の編集発行について
令和4年度社協会員募集報告について
令和5年度社協会員募集について
- ・第2回：令和5年 8月23日（出席者5人）
広報紙「社協あさか」10月号（No.192）の編集発行について
- ・第3回：令和5年11月22日（出席者5人）
広報紙「社協あさか」1月号（No.193）の編集発行について
- ・第4回：令和6年 2月22日（出席者4人）
広報紙「社協あさか」4月号（No.194）の編集発行について

○企画委員会

- ・第1回：令和5年10月12日（出席者4人）
令和4年度事務事業評価について
- ・第2回：令和6年 2月15日（出席者4人）
法人後見事業について

○評議員選任・解任委員会

- ・第1回：令和5年 8月23日（出席者5人）
第28期社会福祉法人朝霞市社会福祉協議会評議員の選任について

◇決算監査・中間監査の実施

- 決算監査：令和5年 5月30日
令和4年度業務監査及び会計監査

○中間監査：令和5年11月17日
令和5年度上半期の業務監査

◇社協発展・強化計画の推進

職員による推進委員会を設け、確実な計画推進体制を整備し、本会の使命である、『ともに生きる豊かな地域社会「あさか」の実現』に向けて、経営理念及び運営方針に基づき事業を展開、実施しました。

◇広報紙「社協あさか」の発行及びホームページ等情報ツールの管理

広報紙の定期発行による情報発信と X やホームページ等の SNS を活用した、迅速かつ積極的な情報発信に努めました。

○広報紙「社協あさか」の発行

- ・年4回【7月・10月・1月・4月（各1日発行）】
- ・配布先：市内各世帯（町内会自治会、公共施設等）
- ・発行部数：35,500部/回

○情報発信

	令和5年度	令和4年度
X	1,709件	1,486件
Facebook	1,578件	1,329件
You Tube	150件	159件

◇職員研修の実施

研修計画に基づき、階級や年齢に応じた研修を実施、受講しました。

また、社協発展・強化計画と連動・連携し、人材育成や法令順守、社協職員としてのスキル向上を図るため、内部、外部を問わず幅広い研修に参加し、研修終了後の振り返りや伝達研修を行うなど、組織力の向上につながりました。

◇るくるん募金箱設置の推進

るくるん募金箱設置の周知・啓発を行い、新たな設置先について検討しました。

【寄付金実績報告】

	令和5年度	令和4年度
個人	延べ8件 204,571円	延べ14件 274,566円
団体	延べ25件 266,799円	延べ35件 1,607,232円
るくるん募金	9か所 62,722円	14か所 57,366円
合計	534,092円	1,939,164円

2. 地域福祉事業の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民の方々と協働し地域の生活課題に取り組み、地域の支え合いの仕組みづくりを行いました。また、地域で活動している地域福祉活動団体に対し、相談支援、福祉情報の発信、助成金の交付、出前講座の提供など、活動支援を行いました。

◇社協会員の募集

社協活動への理解と参加の促進、及び自主財源の確保のため、地域住民、自治会・町内会、市内外事業所に周知・啓発を行い、会員の募集を行いました。

(一般会員500円以上、賛助会員1,000円以上、特別会員5,000円以上)

○実施期間：令和5年7月1日～令和6年3月31日

○目標額：7,500,000円

○実績額：6,853,850円

○加入状況内訳 ※（）内は、振込による加入

	令和5年度	令和4年度
一般会員	3,240世帯(2)	3,690世帯(0)
賛助会員	346世帯(17)	354世帯(18)
特別会員	190世帯(74)	195世帯(85)
500円未満	1,498世帯	1,705世帯

【社協会員募集説明会】

○対象者：自治会・町内会長

○期 日：令和5年6月8日

○場 所：朝霞市総合福祉センターはあとぴあ

○参加者：合計20人

◇赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金活動の実施

地域福祉推進の重要な財源の確保のため、自治会・町内会、関係機関・団体と連携し、共同募金運動を実施し、県共同募金会より各募金の配分金を受領しました。

○配分金額

	令和5年度	令和4年度
一般募金配分金	3,281,000円	3,151,000円
歳末たすけあい募金配分金	3,714,333円	3,333,000円

◇地域福祉活動の啓発・活動支援

住民組織である自治会・町内会に対し、地域の発展と住民の福祉向上を図ることを目的として、前年度の赤い羽根共同募金と社協会員会費実績額の20%を助成しました。

	令和5年度	令和4年度
交付先	自治会・町内会 61団体	自治会・町内会 62団体
助成金額	2,084,180円	2,123,290円

◇第4期地域福祉活動計画の進行・管理

地域福祉活動計画の基本理念・行動目標に基づき、進行の管理を行うとともに、各事業の充実を図りました。

(詳細は2～4ページ参照)

【朝霞市地域福祉活動計画推進委員会】

地域福祉活動計画の進捗状況の確認、及び評価を行うため、朝霞市地域福祉活動計画推進委員会を開催しました。

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和5年5月19日	朝霞市総合福祉センター	12人
第2回	令和5年7月14日	朝霞市総合福祉センター	9人

◇地域福祉活動団体との連携・活動支援

各団体が抱えている課題などの相談を受け、必要に応じて各関係機関と協働し支援を行いました。また、サロン交流会を実施した他、本会以外の助成金情報について情報提供を行いました。あわせて、職員が各団体へ定期的に訪問し、状況確認や顔の見える関係づくりを継続しました。

その他、各団体が主催するイベントや活動情報などを社協ホームページやXで周知活動支援を行いました。

【サロン交流会（サロン活動サポート会）】

	期 日	場 所	出席者
第1回	令和6年3月14日	朝霞市総合福祉センター	24人
第2回	令和6年3月19日	コミュニティセンター	13人

◇地域福祉活動団体等への助成

市内で活動する高齢者、障害者、子育てサロングループや福祉団体等に対して、運営にかかる費用の助成を行いました。

○地域福祉活動（運営費）助成金

	令和5年度	令和4年度
団体数	40団体	36団体
助成金額	1,256,500円	1,041,000円

○地域福祉活動（事業費）助成金

	令和5年度	令和4年度
団体数	9団体	9団体
助成金額	245,000円	270,000円

○地域福祉活動（開設費）助成金

	令和5年度	令和4年度
団体数	1団体	0団体
助成金額	4,834円	0円

○歳末援護金

	令和5年度	令和4年度
団体数	21団体	17団体
助成金額	210,000円	170,000円

◇社協出前講座のメニューの充実及び周知・啓発（広報紙等）

住民の学習機会の拡充と福祉への理解を深めるため、民生委員児童委員協議会や福祉団体等からの依頼により、「福祉体験」や「栄養講座」等、身近な福祉の情報を交えた講座を職員が講師となり実施しました。

	令和5年度	令和4年度
実施回数	13回	16回

◇生活困窮世帯への支援

【ひとり親家庭等に対する食材支援】

○期 間：令和5年10月1日～令和5年12月17日 ○食材支援：85世帯

3. 相談援助事業の実施

(1) 福祉サービス利用援助事業（あんしんサポートねっと）の推進（県社協委託事業）

高齢者や障害のある方で、金銭管理等に不安のある方が安心して生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預りサービスの援助を行いました。

	令和5年度	令和4年度
生活支援員	13人	10人
活動日数	延べ188日	延べ140日
相談件数	延べ1,279件	延べ825件
利用契約者	12人（認知症高齢者7人、知的障害者2人、精神障害者3人）	9人（認知症高齢者6人、知的障害者2人、精神障害者1人）

◇事業の周知啓発

社協内情報コーナーにパンフレットの設置、並びにホームページやX、広報紙「社協あさか」にサービス案内を掲載し、事業の周知を図りました。

◇生活支援員研修の実施

福祉サービス利用援助事業の生活支援員として活動してくださっている方や、将来的に法人後見事業を担う市民後見人として活動して下さる方を養成することを目的に、生活支援員研修・交流会を行いました。

- 期 日：令和6年3月6日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター
- 参加人数：7人

(2) 総合相談支援体制

相談、問い合わせに対し傾聴し、適切な関係機関につなげるとともに、社協内の各部署と連携、情報共有を図り、迅速かつ相談内容に的確に対応できる体制づくりに努めました。

○相談件数：47件（高齢者・障害者関係、子育て、就労、生活困窮、権利擁護等）

(3) 福祉機器の貸出し

○車いす：51件（外出・通院等）

車いすを外出・通院等の支援として貸出ししました。

	令和5年度	令和4年度
貸出回数	51件	54件

4. 福祉資金貸付事業の実施

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協委託事業）

支援を必要とする低所得者世帯及び療養や介護を要する高齢者・障害者世帯等に必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和5年度	令和4年度
貸付相談	延べ249件	延べ156件
貸付件数	6件	5件
償還指導	41件	39件

(2) 社協福祉資金貸付事業

臨時的な出費や応急的な資金を必要とする低所得者世帯に対し、必要な資金の貸付や相談援助指導を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進を図りました。

また、償還が滞り、連絡も取れない世帯に対して、文書と訪問による償還指導を行いました。

	令和5年度	令和4年度
貸付相談	延べ31件	延べ33件
貸付件数	2件	10件
償還指導	22件	21件

(3) 新型コロナウイルス感染症の影響による生活福祉資金特例貸付（県社協委託事業）

生活福祉資金について、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、緊急小口資金等の特例貸付を利用した世帯に対し、償還についての相談援助、償還猶予にかかる面談を実施しました。

○償還相談：延べ37件

○償還猶予面談：延べ26件

(4) 彩の国あんしんセーフティネット事業の支援

福祉資金貸付事業（生活福祉資金貸付事業及び社協福祉資金貸付事業）等にて相談のあった生活困窮世帯のうち緊急の支援が必要な世帯に対して、彩の国あんしんセーフティネット事業の支援員に代行して食材支援を実施しました。

	令和5年度	令和4年度
福祉資金貸付事業相談	延べ317件	延べ774件
上記のうち、セーフティネット事業による支援（食材支援）	22人	27人

5. ボランティア事業の推進

◇ボランティア相談及びコーディネート

○ボランティアの活動状況（ボランティア保険加入状況より）

	令和5年度	令和4年度
個人	94人	104人
団体	469人（37団体）	390人（31団体）

○相談件数

	令和5年度	令和4年度
相談件数	延べ185件	延べ122件

○団体利用室利用状況

	令和5年度	令和4年度
登録団体	14団体	12団体
利用件数	延べ61件	延べ53件

◇ボランティア保険受付出張窓口の実施

来所が困難であるというボランティアの声をうけ、利便性の良い朝霞市市民活動ステーションと連携し、場所を借りてボランティア保険受付窓口を実施しました。

○対象者：朝霞市民等

○期 日：令和6年3月23日、27日（2日間）

○場 所：朝霞市市民活動支援ステーション

○来所者数：合計9人

◇ボランティア情報の収集、発信（ボランティアニュースの発行等）

○ボランティアニュース

ボランティア情報を必要としている人へ情報が届くよう、市内公共施設等への配置及びボランティア登録をした人にボランティアニュースを送付しました。7月号は、中学校と高校にも配布し、ボランティア体験プログラムの周知を図りました。

・発行回数：年3回（7月/4，000部、2月、3月/各2，000部）

○ボランティアセンターガイドブック

ボランティアセンターガイドブックを活用し、ボランティア相談来所者等に配布、情報の発信を行いました。

◇朝霞地区四市福祉教育研修会の開催（朝霞市・和光市・新座市・志木市社協）

○対象者：朝霞地区四市で福祉教育に携わる教職員及びボランティア等（当番市：和光市）

○期 日：令和5年8月4日

○場 所：和光市総合福祉会館

○内 容：社協の取組について、

基調講話・体験ワークショップ「現場ですぐに使える！福祉教育早分かり講座」
当事者講演（肢体不自由）とボッチャ体験、
講演「福祉教育－福祉課題をとおして人・地域・社会の変化を生み出す」

○参加者

	令和5年度	令和4年度
四市合計	45人	延べ91人
朝霞市内	8人	延べ9人

◇福祉教育の支援、充実

市内小学校における福祉教育のコーディネート・支援、福祉体験教室等を行いました。また、4月に福祉教育のメニューと依頼方法についてまとめた案内を市内小中学校及び高校へ送付し、福祉教育の啓発に努めました。その他、障害のある方や福祉教育サポーターの協力を得て実施しました

○依頼件数

	令和5年度	令和4年度
延べ件数	75件	65件
小学校	9校	9校
中学校	0校	2校

○内 容：事前学習「福祉について」、体験学習（車いす・アイマスク・手話）
講演「視覚障害者への理解」等

○福祉教育用機器貸出件数：21件（DVD・車いす・アイマスク・点字盤等）

◇地域福祉活動の担い手の育成

地域住民同士の支え合い活動を推進するため“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業新規協力会員向け講習会を開催しました。

また、令和5年度登録済みの協力会員を対象に「協力会員ミーティング（フォローアッ

ブ研修会)」を実施しました。活動紹介や交流会を通して協力会員同士の連帯感や地域活動を行う“やりがい”を感じてもらふこと、地域の支え合い活動の必要性や役割を学ぶ機会を設けました。

◇ボランティア講座の開催

社会参加や地域活動への参加意欲の向上を図れるよう学びの機会として、また、ボランティア活動のきっかけづくりとなるよう、ボランティア講座を実施しました。

- 期 日：令和6年2月9日
- 場 所：根岸台市民センター
- 内 容：ボランティア活動について
住民参加型在宅福祉サービスあいはあと事業の説明
障害のある方への理解（視覚障害のある方のお話）
ボランティア活動者の講話
- 参加者：12人

◇ボランティア体験プログラムの実施

- 対象者：市民及び近隣のボランティア活動体験希望者
- 期 間：令和5年7月～8月
- 場 所：市内各福祉施設等
- 参加者：37人（延べ43人）

【説明会】

- 期 日：令和5年7月15日 2回実施
- 参加者：15人 ※説明会に都合がつかず、個別に説明：22人

◇災害ボランティアセンターの体制整備

- 朝霞市において大規模災害が発生した際、災害ボランティアセンターを円滑に設置・運営するために、役割分担や費用負担、設置場所等を定めた協定を朝霞市と締結しました。
 - ・協定名：朝霞市災害ボランティアセンターの設置・運営等に関する協定
 - ・締結日：令和5年12月26日
- 平時からの準備として、共募配分金を活用し、災害ボランティアセンター資機材の充実を図りました。
- 令和5年6月台風2号災害に伴う災害ボランティアセンター運営支援のため職員派遣を行いました。
 - ・派遣先：越谷市災害ボランティアセンター（越谷市社会福祉協議会）
 - ・期 間：令和5年6月15日～6月17日
 - ・派遣人数：1名

◇“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業の実施

日常生活のちょっとした困りごとを解決するため“住民参加型”在宅福祉サービス あいはあと事業を地域住民に協力いただき実施しました。

地域住民に事業の情報を分かりやすく伝えるため、本会ホームページやパンフレットを活用して周知活動を行いました。また、広報紙「社協あさか」に利用会員向けの記事を掲

載し、情報提供に努めました。

地域の担い手として活躍する人材を確保するため新規協力会員向け講習会を開催し、利用会員のニーズに応えられる体制を整えました。また、協力会員を対象に「協力会員ミーティング」を実施し、協力会員の活動紹介や地域活動を行う“やりがい”について意見交換し、地域の支え合い活動の必要性や役割について理解を深めました。

関係機関の専門職・支援者等に本事業を理解してもらうため、新規協力会員向け講習会や協力会員ミーティングの参加依頼を行いました。また、必要に応じて関係機関と情報共有を行い、利用会員宅へ訪問時は同行してもらうなど、関係機関と顔の見える関係づくりを行いました。

【活動実績】

	令和5年度	令和4年度
相談件数	161件	167件
利用会員数	121人 (定期46人 単発75人)	121人 (定期49人 単発72人)
利用会員内訳	高齢者97人 障害者16人 子育て 8人 その他 0人	高齢者92人 障害者13人 子育て12人 その他 4人
協力会員数	75人	74人
利用・活動日数	延べ660日	延べ915日
利用・活動時間	延べ848時間30分	延べ1152時間15分

【新規協力会員向け講習会】

- 開催日：令和5年7月25日・8月7日・10月25日・11月6日
令和6年1月18日・2月2日
- 開催方法：会場（朝霞市総合福祉センター）（3回）、オンライン説明（3回）
個別説明（朝霞市総合福祉センター）（5回）
- 参加人数：27人（内：会場14人、オンライン8人、個別説明5人）
- 参加者内訳：一般市民21人、地域包括支援センター・居宅介護支援事業所5人
他市町村社協1人

【協力会員ミーティング（フォローアップ研修会）】

- 開催日：令和6年3月5日（午前・午後2回開催）
- 場所：朝霞市総合福祉センター
- 対象者：あいはあと事業協力会員（令和5年度登録者）、関係機関職員
- 参加者：15人
- 内容：あいはあと事業活動紹介（事例紹介）、交流会、質疑応答

6. 市委託事業の受託経営

(1) 手話通訳者等派遣事業

手話を必要とする聴覚障害者等の生活におけるコミュニケーションの円滑化、社会参

加の促進を図るため手話通訳者の派遣を行いました。

	令和5年度	令和4年度
依頼件数	489件	545件
派遣件数	464件 (個人339件・自治体47件・学校26件・団体52件)	526件 (個人381件・自治体57件・学校29件・団体59件)
派遣人数	延べ548人 (専任延べ205人・登録延べ305人・他機関派遣協力38人)	延べ623人 (専任延べ246人・登録延べ330人・他機関派遣協力47人)

◇手話通訳者の育成

手話講習会	期 日	受講者	講 師	アシスタント
中級(昼)	令和5年4月 ～令和5年9月	10人	野口照代氏 (NPO法人手話教師センター)	あさか手話サークル あじさい
養成 (前半・昼)	令和5年10月 ～令和6年3月	3人	野口照代氏 (NPO法人手話教師センター)	専任手話通訳者
養成(夜)	令和5年4月 ～令和6年3月	10人	森永慶子氏 (NPO法人手話教師センター)	専任手話通訳者

◇手話体験会

- 期 日：令和5年7月25日・8月1日・8日・22日
- 参 加 者：12人

◇朝霞市日本手話言語条例講演会

- 期 日：令和6年2月23日
- 講 師：野口岳史氏
- 参 加 者：102人

◇要約筆記（PC）体験会

- 期 日：令和5年3月9日
- 講 師：手話通訳問題研究会（要約筆記者班）
- 受 講 者：0人（申し込みなし）

(2) 一般介護予防事業

市内の概ね65歳以上の方を対象に、高齢者が健康的に生きがいを持ち地域の様々な活動に主体的に参加できるよう、住民運営の通いの場の創出や、人と人との交流の場の拡充を目指し事業に取り組みました。

『ノルディック・ウォーク教室』、『切り絵講座』からは新たな自主グループが立ち上がりました。『健康太極拳』は近隣住民自由参加型の野外太極拳の拠点を4ヶ所に拡大し実施しました。

また、市内の医療機関3ヶ所のリハビリ専門職と連携しフレイル予防体操講座を実施しました。

令和5年度	期間	回数	延べ人数
ノルディック・ウォーク教室 (連続講座)	4月～ 5月	8回	316人
	10月～12月	8回	
ノルディック・ウォーク フォローアップ事業	11月～ 3月	6回	117人
健康太極拳教室 (連続講座)	4月～ 7月	12回	964人
	9月～ 2月	24回	
切り絵講座 (連続講座)	9月～11月	5回	97人
切り絵体験教室	6, 7, 11月	3回	120人
普段の生活の中で実践できる 『“ながら”体操』 (フレイル予防体操講座)	3月	2回	30人
各自主グループ継続支援 (ノルディック・太極拳・切り絵・健康体操)	随時実施	203回	2,593人
他各種体験講座 (気功、太極拳、写仏、手芸)	随時実施	9回	115人
老人クラブ支援	随時実施	25回	387人

7. 指定管理事業の受託経営

(1) 朝霞市総合福祉センター指定管理事業

【朝霞市総合福祉センター管理】

地域福祉の向上を図るため、各種の福祉サービスや情報、活動の場を提供する複合施設の建物・設備・備品の総合管理を行いました。

	令和5年度	令和4年度
開館日数	294日	293日
共用施設利用状況	569件	514件
利用人数	延べ5,364人	延べ4,621人

※共用施設：集会室、社会適応訓練室、調理実習室、介護者教育室

○消防訓練の実施

有事に際し、被害を最小限にとどめるため、訓練を実施し技術の向上を図りました。

- ・第1回 令和5年10月 3日 参加者： 90人 (火災想定避難訓練)
- 令和5年11月 1日 参加者： 14人 (消火訓練)
- ・第2回 令和6年 3月14日 参加者：120人 (火災想定避難訓練)
- 令和6年 3月21日 参加者： 12人 (消火訓練)

○洪水時等の避難確保計画による訓練の実施

大雨や洪水時等の有事に際し、情報の伝達、避難誘導について机上訓練を行いました。

令和5年12月27日 参加者： 3人（職員による机上訓練）

○はあとびあふれあい祭り

障害の有無や世代に関わらず交流を図ることを目的に実施しました。

・期 日：令和5年11月23日

・来場者：延べ1,087人

【はあとびあ福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における入浴、日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練等のサービスを提供しました。

なお、新型コロナウイルス感染症対策を講じつつ、事業の実施に努めました。

① 開所日：月曜日～金曜日

	令和5年度	令和4年度
	開所日数	開所日数
生活介護	243日	243日
就労継続支援B型	243日	243日

②利用者数（年度末）

	令和5年度		令和4年度	
	利用者数	延利用者数	利用者数	延利用者数
生活介護(定員36人)	31人	5,906人	32人	6,299人
就労継続支援B型(定員44人)	29人	6,734人	29人	6,741人
合計	60人	12,640人	61人	13,040人

③通所状況

送迎サービスの他、自転車、徒歩による自主通所

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業

令和5年度		令和4年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
15社 社協3部署	2,449,960円	15社 社協3部署	2,426,986円	食品容器シール貼り、熱処理部品スプリング通し、封入封緘、チップ拭き、靴下ストックキング返し作業、景品封入れ、バスマットクリーニング及び交換作業等

○社会参加活動

実施事業
なし

⑤花壇植栽管理整備事業（市委託事業）

ふれあい花壇、朝霞駅南口広場花壇、朝霞市役所庁舎内プランターの植栽、灌水、除草、清掃等の管理整備

令和5年度		令和4年度	
業務内容	売上	業務内容	売上
ふれあい	4,092,000円	ふれあい	4,320,800円
朝霞駅南口広場	885,500円	朝霞駅南口広場	885,500円
朝霞市役所庁舎内	59,721円	朝霞市役所庁舎内	58,080円

⑥喫茶室「お花畑」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和5年度			令和4年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
220日	2,061人	749,840円	231日	1,842人	686,350円

⑦売店「はっぴい」の運営（毎週火曜日～金曜日） ※一部営業時間を短縮して営業

令和5年度			令和4年度		
営業日数	利用者数	売上	営業日数	利用者数	売上
189日	3,119人	3,847,570円	185日	2,513人	2,707,167円

○出張販売

実施事業（一部変更した事業を含む）
市役所、ふれあいマルシェ

⑧売店カフェ「ル・クール」の運営（毎週月曜日～金曜日）

令和5年度			令和4年度		
営業日数	利用者数	売上(委託金含)	営業日数	利用者数	売上(委託金含)
214日	3,137人	758,146円	18日	190人	646,593円

※あさか福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、あさか福祉作業所と按分

⑨主な年間行事

実施事業
保護者懇談会、個別面談、朝霞市ふれあいスポーツ大会、避難訓練（地震、火災、水害を想定し、避難所への避難を想定した訓練も実施）、はあとぴあふれあい祭り、日帰り課外体験研修、保護者交流会、誕生日会、健康増進体操事業、理学療法、作業療法、音楽療法、社会生活力事業、赤い羽根共同募金街頭募金、彩夏祭「鳴子踊り」

⑩保健衛生

実施事業
利用者健康診断、精神科健診、歯科検診、内科検診、生活習慣病予防事業等

⑪ボランティアの受入

令和5年度		令和4年度	
受入人数	0人	受入人数	0人
活動内容	なし	活動内容	なし

【はあとびあ障害者就労支援センター】

市内在住の障害のある方やその家族、また関係する事業所、施設、教育、医療機関等を対象に、障害のある方の就労支援と生活支援を総合的に行うことにより、一般就労の拡大を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に支援を行いました。

情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ障害者相談支援センターと合同で会議を開催し、情報提供と日ごろからの連携の必要性の共有を図りました。また、「社会生活力を高め地域で生活するうえで必要なスキルを身につける」ことを目的として身だしなみ講座を開催しました。

○登録者数・就職者数

		身体	知的	精神	その他	合計
令和5年度	登録者	56人	127人	235人	13人	431人
	就職者	4人	8人	15人	1人	28人
令和4年度	登録者	52人	120人	219人	11人	402人
	就職者	6人	14人	15人	0人	35人

○就職先の主な職種

職種	身体障害	知的障害	精神障害	その他
事務職	2人		6人	1人
小売店品出し		1人		
ピッキング・仕分け・軽作業		2人	3人	
食品製造		1人	1人	
農作業	1人	1人		
調理	1人			
支援員			1人	
清掃		3人	2人	
就労継続A型			2人	
計	4人	8人	15人	1人

○事業所・関係機関との連携

新規事業所開拓	16件 (令和4年度26件)	雇用相談	延べ 988件 (令和4年度延べ884件)
調査研究・普及啓発	延べ 103件 (令和4年度延べ113件)	関係機関との連携	延べ 1,168件 (令和4年度延べ1,120件)

○余暇支援事業

- ・朝霞市ふれあいスポーツ大会参加
期 日：令和5年9月23日
場 所：朝霞市立総合体育館
参加者：6人
- ・気功体験及び茶話会
期 日：令和5年12月13日
場 所：朝霞市総合福祉センター
参加者：11人
- ・社会生活力向上支援
身だしなみ講座
期 日：(女性) 令和5年2月27日・(男性) 令和6年1月22日
場 所：朝霞市総合福祉センター
参加者：(女性) 8人・(男性) 14人

【はあとぴあ障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう身体の状態、環境等に応じて、利用者及びその保護者からの相談に対し、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携により、生活全般の支援等を行いました。

令和5年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、ふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、障害者就労支援センターと合同で身だしなみ講座などを開催しました。これにより、情報提供と日ごろからの連携の必要性を共有することができました。

○高次脳機能障害の理解

- 対象者：近隣障害福祉サービス事業所等
期 日：令和5年6月30日
場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1・2会議室
参加者：29名
講 師：埼玉県高次脳機能障害者支援センター
医療法人真正会霞ヶ関南病院

○障がいのある方の「親なきあと」に向けて

- 対象者：障害のある子を持つ家族
期 日：令和5年11月16日
場 所：産業文化センター 多目的ホール
参加者：58名
講 師：埼玉司法書士会

○障害児のライフプラン

対象者：市内障害福祉サービス事業所等

期 日：令和6年3月1日

場 所：朝霞市総合福祉センター（はあとぴあ）第1会議室

参加者：27名

講 師：朝霞市こども相談室

○施設見学会

対象者：障害サービスを利用している児童の保護者

期 日：令和6年3月19・25日

場 所：グループホーム（クリード朝霞、わおん上宗岡）、就労移行（torepal）

参加者：13名

<基本相談>

	身体障害	知的障害	精神障害	その他	合計
令和5年度 利用者数	46人	198人	1,144人	336人	1,724人
相談件数	45件	197件	1,129件	334件	1,705件
令和4年度 利用者数	119人	183人	1,529人	439人	2,270人
相談件数	118件	184件	1,503件	440件	2,245件

<計画相談>

	障害者契約者数	障害児契約者数	合計
令和 5年度契約者数	122人	84人	206人
令和 4年度契約者数	119人	83人	202人
支援内容	◇福祉についての情報提供・総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明・紹介・仲介 ◇福祉事務所、児童相談所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇療育相談（発達に心配のある子どもに関すること） ◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇権利擁護に関する支援等		

(2) 朝霞市老人福祉センター指定管理事業

60歳以上の高齢者が健康で明るい生活を営むための一助として、各種教室を開催しました。

○利用状況

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
開 館 日 数	294日	293日	293日	293日
年 間 利 用 者 数	31,891人	27,656人	43,068人	44,417人
1日平均利用者数	108人	94人	147人	152人
個 人 利 用 者 数	26,510人	18,974人	38,639人	41,856人
団 体 利 用 者 数	1,511人	1,285人	1,706人	1,540人

○高齢者健康相談

区 分	浜崎老人福祉センター		溝沼老人福祉センター	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
実 施 日 数	年3回	年3回	年5回	年1回
相 談 件 数	23件	0件	70件	27件

(3) 朝霞市児童館指定管理事業

遊びを通じて子どもたちが心身ともに健やかに育つように支援し、子育て家族への交流・相談の場の提供を行い、児童館が健全育成の推進・ネットワーク作りの地域拠点となり、各世代が主体的に利用できる「地域に根ざした児童館」を目指し事業を展開しました。

また、新型コロナウイルス感染症が5類相当に移行した事に伴い、感染対策を講じた上で、従来の事業運営で培った経験を活かして、新たな事業創出に取り組みました。

○利用状況

児童館名	開 館 日 数		年 間 利 用 者 数		1日平均利用者数	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
きたはら	293日	292日	33,033人	25,792人	113人	88人
はまさき	294日	293日	20,333人	14,721人	69人	50人
みぞぬま	293日	293日	53,793人	43,049人	184人	147人
ねぎしだい	294日	293日	27,313人	20,228人	93人	69人
ひざおり	293日	293日	36,930人	27,702人	126人	95人
ほんちょう	292日	293日	56,501人	41,406人	193人	141人
合 計	1,759日	1,757日	227,903人	172,898人	—	—

○主な年間事業

幼児・児童事業、工作事業、館外事業、交流事業、合同事業、夏まつり、クリスマス会、春まつり、ランドセル来館事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで実施しました。

(4) 朝霞市放課後児童クラブ指定管理事業

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校に就学している1年生から6年生の児童に対し、授業の終了した放課後及び夏・冬・春休み・土曜日等の学校休業日に放課後児童クラブにおいて家庭に代わる生活の場を確保し、適切な遊びや指導を行うことにより、児童の健全な育成を図るとともに、保護者の仕事と子育ての両立を支援しました。

○放課後児童クラブの状況

クラブ名	定員		在籍数(年度当初)		延べ児童数	
	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度	令和5年度	令和4年度
本町	115人	115人	110人	110人	1,311人	1,258人
朝志ヶ丘	150人	150人	160人	166人	1,699人	1,871人
岡	122人	122人	144人	123人	1,658人	1,341人
膝折	130人	130人	101人	107人	1,132人	1,085人
栄町	135人	135人	128人	124人	1,473人	1,383人
浜崎	148人	148人	144人	144人	1,645人	1,578人
泉水	125人	125人	117人	152人	1,350人	1,706人
幸町	98人	98人	100人	91人	1,094人	983人
根岸台	80人	80人	79人	73人	935人	854人
溝沼	140人	140人	138人	137人	1,565人	1,502人
合計	1,243人	1,243人	1,221人	1,227人	13,862人	13,561人

○主任会議・指導員会議の開催 1回/月

○主な年間事業

お誕生会、調理実習、季節の行事、伝承遊び、あそびンピック(10クラブ統一事業)等

(5) 朝霞市障害者ふれあいセンター指定管理事業

【朝霞市障害者ふれあいセンター あさか福祉作業所】

障害者総合支援法に基づく多機能型施設として、生活介護における日常生活動作の維持向上支援並びに創作的活動、スヌーズレンによる感覚統合支援、就労継続支援B型における作業訓練や生活訓練、就労移行支援における一般就労に向けた訓練や企業見学・実習等のサービスを提供しました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の5類移行後も引き続き対策を講じながら、事業を実施しました。

①開所日：月曜日～金曜日

②利用者数(年度末)

サービス	令和5年度		令和4年度	
	定員	利用者数	定員	利用者数
生活介護	15人	15人	15人	12人
就労移行支援	8人	0人	8人	0人
就労継続支援B型	37人	26人	37人	27人
合計	60人	41人	60人	39人

③通所状況

送迎サービスの他、路線バス、自転車、徒歩等による自主通所
(就労移行支援は自主通所のみ)

④主な作業内容

○市内外の事業者からの請負作業等

令和5年度		令和4年度		主な受注作業
業者数	売上	業者数	売上	
7社 本会1部署	2,096,821円	7社 本会1部署	2,763,625円	プラスチック部品組立、機械用オイル詰め・箱入れ作業、線香箱詰め、資材梱包等

○パンの製造販売

【こんがりパンの店「フレア」】

令和5年度		令和4年度		主な販売場所
販売回数	売上	販売回数	売上	
137回	5,623,730円	131回	4,373,240円	店頭販売、市ブース販売、注文販売等

○カフェ・売店「ル・クール」の運営(毎週月曜日～金曜日)

令和5年度			令和4年度		
営業日数	来客者数	売上	営業日数	来客者数	売上
214日	3,137人	823,424円	18日	190人	510,467円

※はあとびあ福祉作業所と合同で運営しているため、委託金は折半、売上金は執行額に応じて、はあとびあ福祉作業所と按分

○社会参加活動等

自主製作品展示販売会(市役所)、市内企業での社員向けパン販売会、彩夏祭鳴子踊り、朝霞市ふれあいスポーツ大会、赤い羽根共同募金街頭募金活動

⑤就労支援(就労移行支援)

特別支援学校の生徒を対象に、卒業後の就労を見据えた体験実習を実施しました。

○就労アセスメント: 1回(埼玉県内の特別支援学校3年生)

⑥主な年間行事

個別面談、外出事業（日帰り課外体験研修代替事業）、音楽療法、作業療法指導、消防訓練等

⑦保健衛生

利用者健康診断、精神科健診、歯科検診等

⑧ボランティア・実習生等の受入れ

○受入人数：延べ4人（社会福祉士援助技術実習、保育士実習、介護等体験）

○内 容：利用者との交流、作業やレクリエーションへの参加

⑨ふれあいセンターの管理運営

ふれあいセンターの設備・備品の管理、建物の総合管理を行うとともに、施設内の清掃や消毒、入館時の検温及び手指消毒の徹底等、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努めました。また、施設と地域との顔の見える関係を構築し、障害福祉への理解や促進を図ることを目的として、障害者ふれあいセンターまつり『ふれあいマルシェ』を開催しました。

○障害者ふれあいセンターまつり『ふれあいマルシェ』の開催

・開催日 令和5年10月28日

参加者：約400人

○消防訓練（避難・消火・通報）の実施

・第1回 令和5年9月25日

参加者：58人（利用者36人・職員22人）

・第2回 令和6年2月19日

参加者：59人（利用者37人・職員22人）

【ふれあい障害者相談支援センター】

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障害のある方が自立した日常生活又は社会生活を営むため、利用者及びその家族からの相談に対応しました。相談の際は、利用者の身体状況や環境等に応じて、適切な障害福祉サービス等が多様な事業者から総合的かつ効果的に提供されるよう関係機関等との連携を図り、生活全般の支援等を行いました。

また、令和5年度も、情報の共有や統一した支援の提供を目的に、はあとびあ及びふれあい障害者相談支援センターとの調整会議や、はあとびあ障害者就労支援センターを含めた合同会議を開催しました。

契約者数（年度末）	身体	知的	精神	高次脳機能	障害児	計
令和5年度	13人	63人	10人	1人	32人	119人
令和4年度	12人	59人	7人	1人	35人	114人
支援内容	◇サービス等利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇障害児支援利用計画の作成や訪問等による継続支援 ◇福祉についての情報提供、総合的相談 ◇福祉サービスや福祉施設等の利用方法の説明、紹介、仲介 ◇福祉事務所、福祉施設、教育機関等との調整及び連携 ◇権利擁護に関する支援等					

8. その他社協関連事業

(1) 埼玉県共同募金会朝霞市支会の事務局

◇支会理事会の開催

- 令和5年6月6日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数9人(監事2人含む)
 - ・令和4年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業報告について
 - ・令和4年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支計算書について
- 令和6年3月15日 朝霞市総合福祉センター会議室 出席数10人(監事1人含む)
 - ・令和6年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会事業計画について
 - ・令和6年度社会福祉法人埼玉県共同募金会朝霞市支会資金収支予算について

◇赤い羽根共同募金運動説明会

- 対象者：自治会・町内会
- 期 日：令和5年9月6日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室

◇赤い羽根共同募金

- 期 間：令和5年10月1日～令和6年3月31日
- 目 標 額：7,000,000円(令和4年度目標額：7,000,000円)
- 実 績 額：6,260,532円(令和4年度実績額：6,562,683円)
※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

◇地域歳末たすけあい募金

- 期 間：令和5年11月20日～令和6年3月31日
- 目 標 額：4,100,000円(令和4年度目標額：4,000,000円)
- 実 績 額：4,078,464円(令和4年度実績額：4,261,731円)
※ご協力いただいた募金は、全額、埼玉県共同募金会へ送金しました。

(2) 日本赤十字社埼玉県支部朝霞市地区の事務局

◇日赤会員募集説明会開催

- 対象者：自治会・町内会長
- 期 日：令和5年4月13日
- 場 所：朝霞市総合福祉センター会議室
- 参加者：24人

◇会員会費・寄付金募集

- 期 間：令和5年5月1日～令和6年3月31日
- 目 標 額：7,761,300円(令和4年度目標額：7,761,300円)
- 実 績 額：5,089,437円(令和4年度実績額：5,278,760円)
(自治会・町内会：5,041,305円 個人・企業：48,132円)
※ご協力いただいた会費は、全額、日本赤十字社埼玉県支部へ送金しました。

◇災害見舞金支給

- 件 数：5件
- 支 給 額：65,000円

◇街頭募金（令和6年能登半島地震災害義援金）

- 対象者：社協職員
- 期日：令和6年1月19日、26日
- 場所：北朝霞駅、朝霞台駅周辺
- 実績額：157,287円